



第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 石黒 秀司（郡山 RC）

2024年3月のコーディネーターニュースで2019-20年度第2530地区公共イメージ委員会が、2,000人規模で行った愕然のアンケート結果を報告しました。今回は、その続報から。

2023-24年度(今回)も前回と同じ設問で同規模でロータリー認知度調査を行いました。(当地区は人口あたりのロータリアン数が多く、地方新聞2紙の特徴ある地区です。)

■公式ロゴ 見たことがありますか? ..あるが、前回16%・今回19.4%(コツコツ公共イメージ向上の努力したのに!! 小数点以下を四捨五入しても19%の意味ありげな数値)

■「ロータリークラブ」または「ロータリー」という団体について、見たり聞いたりしたことはありますか? ..あるが、前回55%。今回47.7%で大幅ダウン。(なぜ??)

■「ロータリークラブ」または「ロータリー」はどんな活動をしている団体だと思いますか?

全く知らない-前回32%・今回が32.8%。地域の社会奉仕ボランティア活動-前回17%・今回16.6%。会員同士の親睦・交流-前回14%・今回11.5%。会員の職業をとおした地域貢献-前回12%・今回11.0%。前回、特に低かった青少年育成活動(前回4%・今回4.1%)疾病予防根絶活動(前回1%・今回1.6%)は今回のアンケートでも圧倒的に認知度が低い結果。(抜本的なPR方法を変えなければならないのかも?)~あまり変わっていない。「ウーン」と唸ってしまう!!

さて、11/2.3に開催された当地区地区大会で、大野均氏(ラグビーワールドカップ3回出場、歴代トップの日本代表キャップ数98)「弱小チームからワールドカップで勝利するまで」のテーマで感動の講演を聞きました。もっともっと知りたかったので大野氏の書籍を読みました。2015年イングランド大会で強豪国・南アフリカ戦の劇的の勝利には当然、勝ちを呼び込む多くの良い要因がありました。*エディー・ジョーンズHC「チームの歴史を変えよう」のスローガンのもと理不尽なトレーニング(想像を絶する厳しい練習)*非常識な発想(日本の弱点のスクラムを武器に)*相手チームを知り戦略・戦術*南アフリカ戦への周到な準備(滞在する町を全員で下見・リラックスできる環境作り・レフェリーのクセを知る)*スピーカーで大音量の音楽(大観衆でラインアウトのサインコールが届かない状況で練習)等。

こんな練習に取り組んでいたのかと、あの感動の逆転勝利のシーンが蘇ってきました。

公共イメージ向上の為、やれることはまだまだあるし、やっていたのか?と感じました。いつでもやれることをコツコツと諦めず皆で。良い要因を積み上げる行動の結集が澎湃としてうねりになるはずです。今は一時の屈みと信じて「明朗」な心で「納得」行動で取り組みたいものです。





第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター 伊藤 靖祐 (江南 RC)

世界でもっとよいことをするため、ロータリー財団管理委員会(TRF)は2024-25年度に5億ドルというアグレッシブな寄付目標を立てました。目標の内訳は、年次基金1.5億ドル、恒久基金1.4億ドル、ポリオプラス基金1.5億ドル、その他6千万ドルです。この目標はロータリー財団のマザーファンドとなる恒久基金を2025年までに20億2500万ドルにするという目標達成を後押しします。

マークD.マローニーTRF管理委員長がTRFは“私たちが動かすエンジン”と言っています。エンジンにはガソリンが必要です。ガソリンを供給するために皆様のご理解とご協力が不可欠です。寄付というより、インパクトを与えて長期的なポジティブな変化を与えるために世界でよいことをすると考えていただきたいと思います。

TRFは皆様の寄付からの基金の運用をしていますが、そのポートフォリオを紹介します。年次基金は82%を確定利付債に18%を不動産に投資しています。過去5年間平均で5.4%の収益をあげています。恒久基金は株式48%、ヘッジファンド15%、不動産8%などと長期運用でかつよりリスクを取った運用で過去5年間平均10.3%の収益をあげています。特に2021会計年度の収益率は30.5%でした。エバンストンにあるRI本部の18階建ビルOne Rotary Centerは自己所有でテナントを入れて収益をあげています。

では、TRFはどうしてこのようなハイパフォーマンスをあげられるのでしょうか。もちろん徹底した資金管理と慎重な投資で持続可能な運営をしていますが、恒久基金の一部ではヘッジファンドで運用しているように米国がファンド大国であることも大きな要因です。例えばメジャーリーグ(MLB)と日本野球機構(NPB)の年金の違いを見れば一目瞭然です。MLBでは1日でも一軍登録があると年金がもらえ、5年以上10年まで増えていき、10年で満期になり、一年で約12万ドル(1800万円程度)が死亡するまでもらえます。10年以上の日本人は野茂、松井選手など4人のみでこれから増えていくでしょう。NPBは10年以上の選手登録で、55歳から死亡まで年間120万円だそうです。ゴルフのPGAはもっとすごいです。日本ゴルフ協会とはかけ離れています。MLBやPGAとは違いますが、TRFも長期運用で結果を出し、16年連続で米国の慈善団体の格付け機関である“チャリティナビゲーター”より最高の四つ星評価を受けています。寄付の資金用途がはっきりしているTRFは信頼性が高く、シェアシステムの中核である年次基金は寄付した地区に3年後に返ってきます。恒久基金はTRFの財産となり、運用益が毎年地区に返ってきますので、わかりやすいシステムです。ロータリーのエンジンにガソリンを供給していただくようお願い申し上げます。





衛星クラブ設立経緯報告

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 杉川 聡 (広島西南 RC)

当地区(第2710地区)では初の衛星クラブが誕生しました。私の所属しております広島西南ロータリークラブが「広島西南平和ロータリー衛星クラブ」を設立し、2024年9月9日の広島西南ロータリークラブ38周年記念式典と同じ日にチャーターナイトを開催致しました。この衛星クラブ設立までの経緯を報告させて頂きたいと思います。

昨年度の広島西南ロータリークラブ増強委員長は、熱い思いを持って、委員と共に増強活動を開始致しましたが、中々会員増強が思うように進みません。ロータリー活動に関心は強く持っているけど、色々な事情で入会は難しいと言う方に数人続いて断られてしまいました。

【入会を断られた理由】

- ① 毎週1回も昼間の例会に出席するのが困難。
- ② 年会費が高い。

この2つの理由を挙げられた方が多くいらっしゃいました。そこで、増強委員長が会費の内訳を調べて行くと、会費の内訳の中で多くを占めているのは、①ホテルでの昼食代②事務局維持費(人件費・家賃等)となる事が判明しました。ロータリー会員として奉仕活動などには参加してみたいと思っているけど、現状のロータリークラブに入会することにはハードルが高くて中々入会出来ていない人が多いそうだと言う事になり、そこから、新しい形のロータリークラブを調べて行き、衛星クラブの存在に辿り着いたと言う事でした。

まずは、先進例を調べてみようと言う事で、RI第2700地区にお伺いし、衛星クラブの設立に関わられたロータリー会員数人にヒアリングをさせて頂きました。衛星クラブがスポンサークラブに与える効用の多さ等もお聞きし、衛星クラブの設立を進めて行く事の意を強くした次第です。クラブ内の理解の為、卓話時間を活用してクラブ協議会を数回実施し、長老格のメンバーには会長以下が直接ご説明にも上がらせて頂きました。会員からは好意的な意見が多く寄せられ、理事会決議、総会決議を経て、2024年6月4日に晴れてRIから認証を頂きました。チャーターメンバーの構成は、会員数13名。女性3名、男性10名。平均年齢43.15歳。因みに、スポンサークラブは会員数59名。女性1名、男性58名。平均年齢59.8歳。衛星クラブを設立出来たことにより、女性、若い人の会員数が増加しました。先般実施された平和公園の清掃奉仕活動も共同で実施しました。「平和」の名前が付いた衛星クラブですから、従来の広島の平和に続く、新しい平和の街広島を発信して行く予定だそうです。今から、ワクワクが止まりません。

